

妊娠中の

妊娠中のみなさんに知って欲しい

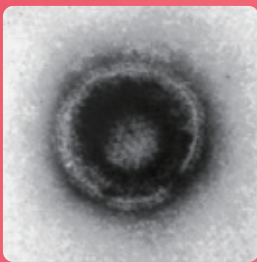
# サイトメガロウイルス 母子感染 に注意しましょう

妊娠中のお母さんがサイトメガロウイルスに感染すると、赤ちゃんが何らかの障がいを持って生まれてくる場合があります。今のところ国が認めた治療薬、感染を防ぐためのワクチンがありません。ですから、お母さんが妊娠中に感染しないことがとても大切です。



「妊娠中」感染しないために！

手洗いなどの日常生活のちょっとした気配りによって感染のリスクを $\frac{1}{5}$ ～ $\frac{1}{10}$ まで減らすことができます。



サイトメガロウイルス粒子 (電子顕微鏡写真)

「サイトメガロウイルス」ってなに？

サイトメガロウイルスは、世界中のいたるところにいる、ありふれたウイルスです。母乳、唾液や尿や血液を介して主に子供のうちに感染します。その他、性行為を介して感染するなどし、日本では成人女性の70%程度がすでに感染し、抗体(免疫)を持っています。

感染したときの症状はほとんどないか、風邪症状にとどまることが多く、サイトメガロウイルス感染と気づくことはまずありません。健康な子供や大人が感染しても全く問題ないのですが、妊婦さんが初めて感染した場合や、既に感染している妊婦さんの免疫がひどく低下した場合は、赤ちゃんにまで感染が及ぶことがあり、国内で生まれる赤ちゃんのおよそ300人に1人が感染をうけて生まれてきます。

予防法など詳しい内容はホームページをご覧ください

<http://cmvtoxо.umin.jp/>

サイトメガロウイルス感染について「母子感染の実態調査把握及び検査・治療に関する研究」班では、より多くの人にとってもらえるよう、上記ウェブサイトにてサイトメガロウイルス感染に関する情報提供を行っています。



国立研究開発法人 日本医療研究開発機構 (AMED)  
成育疾患克服等総合研究事業  
「母子感染の実態調査把握及び検査・治療に関する研究」班